

信頼のある「アリダン工法」が
あらゆる物件で対応可能になりました!!



布基礎



シート下

(アリダンシート敷設工法)

土間
コンクリート

ベタ基礎



基礎際

(アリダンペースト工法)

新築から5年～10年経過し、

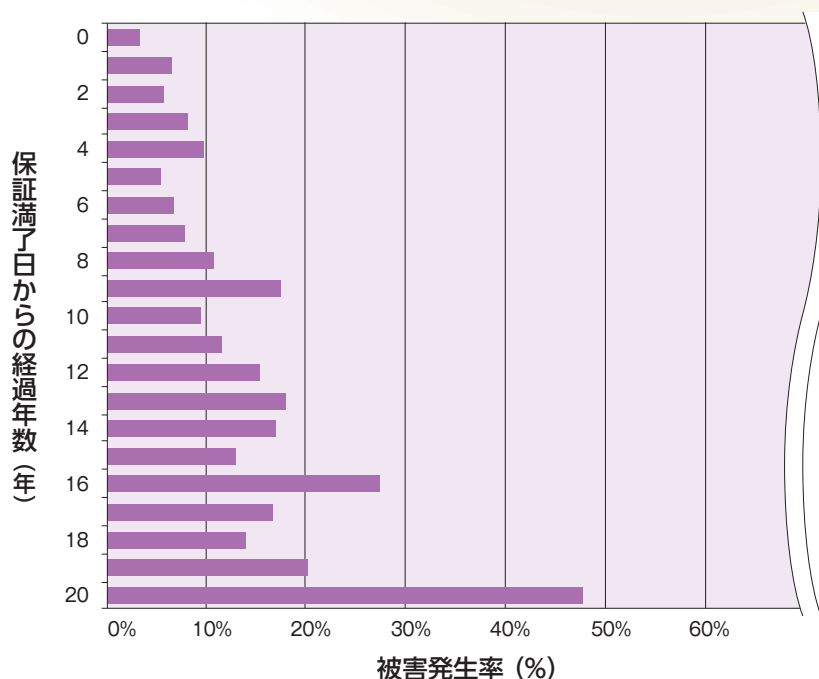


**放置する期間が長ければ長いほど
シロアリ被害のリスクは高まります!!**



保証満了日からの経過年数別被害発生率

〈 防蟻処理保証切れで、再施工せず、一定期間経過（放置）した物件 〉



築年数が経過すればするほどシロアリ被害のリスクは増加します。

保証満了以後10年も経過すれば、被害発生率は10%近くに達し、さらに10年経過後には50%近くに達しています。蟻害の再発防止には、継続した防蟻工事が求められます。

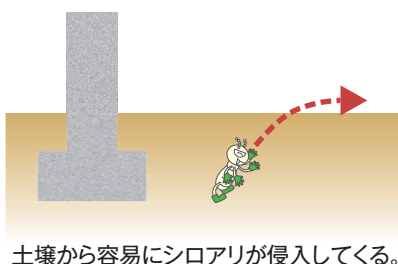
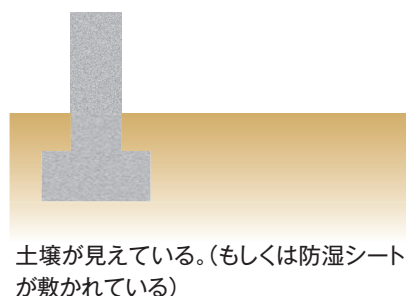
※ 出典：日本長期住宅メンテナンス有限責任事業組合

防蟻保証が切れていませんか？

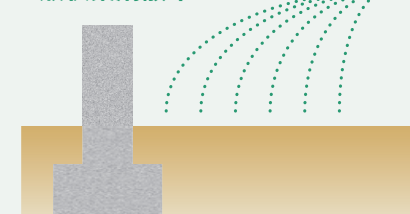
基礎構造別シロアリ被害パターン

一般的な対策

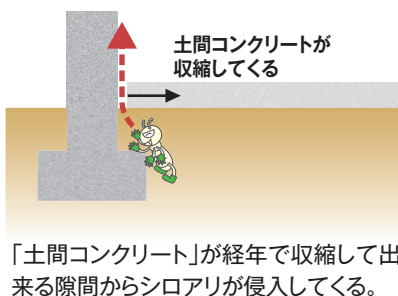
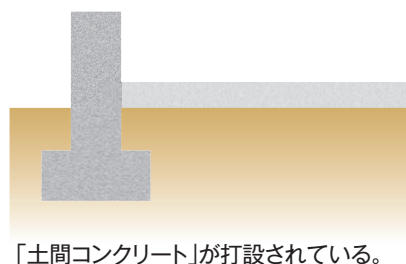
● 布基礎仕様の場合



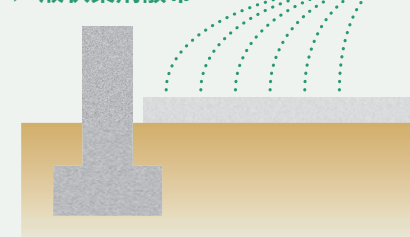
▶ 液状薬剤散布



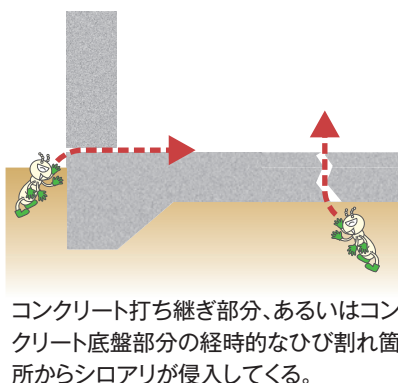
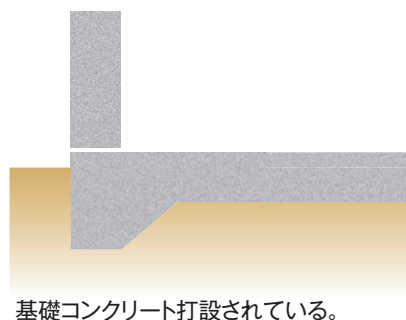
● 土間コンクリート仕様の場合



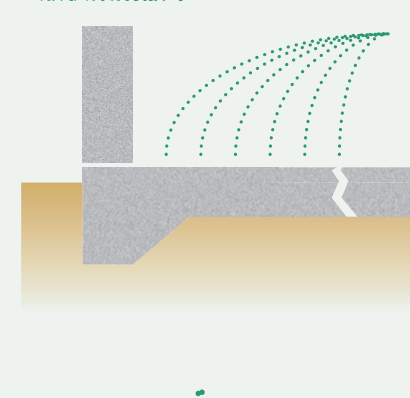
▶ 液状薬剤散布



● ベタ基礎仕様の場合



▶ 液状薬剤散布



一般的な対策(液状薬剤散布)は揮発性が高いため、人体に対する影響や防蟻効果の減少が早いという問題点があります。

**フクビのシート工法、ペースト工法は長期間防蟻効果を持続できます。
また、人体にも極めて優しい防蟻工法です。**

布基礎

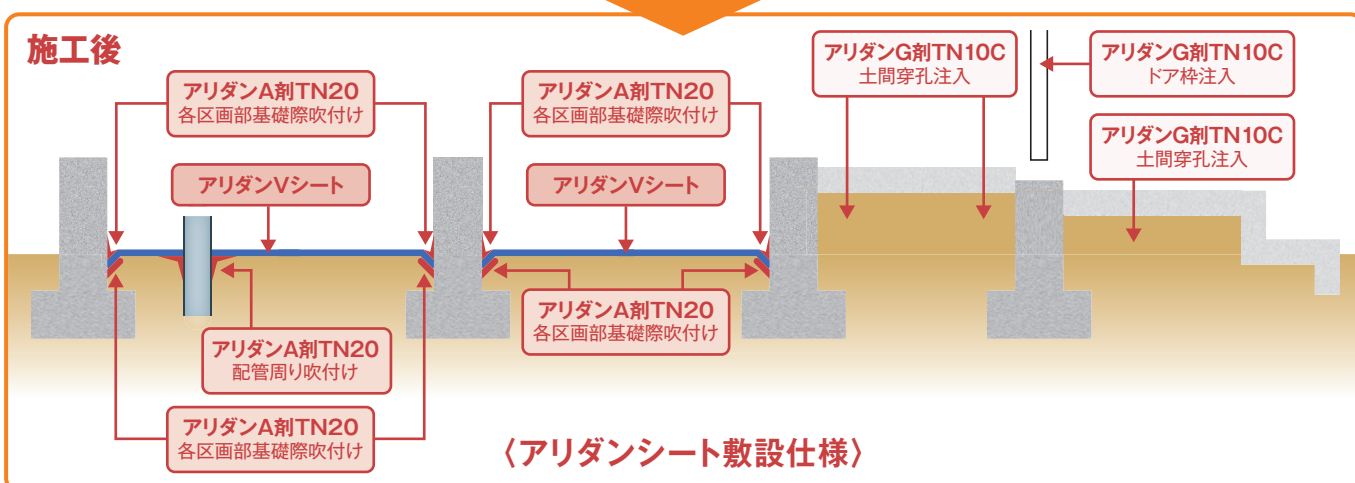
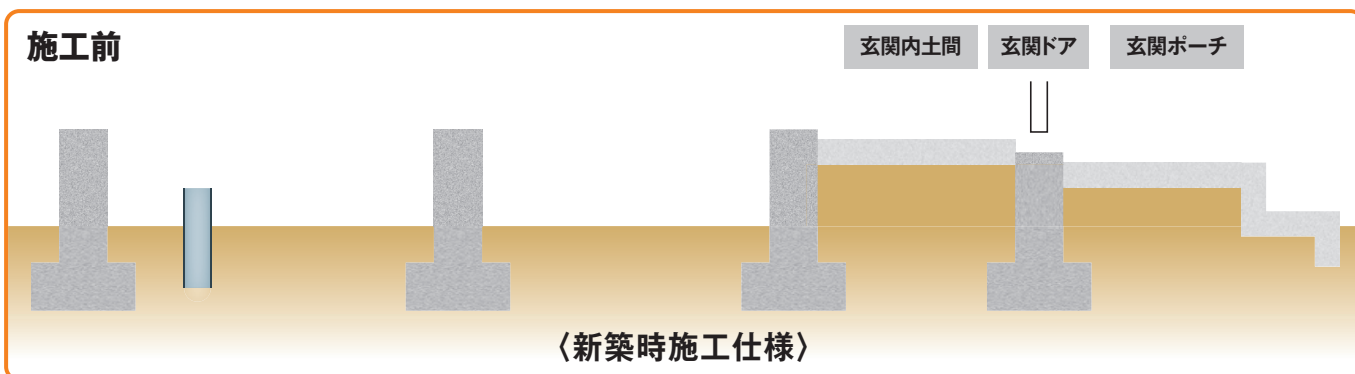
アリダンシート敷設工法

露出している土壌をアリダンシートで覆い隠します。

あるいは、古くてバリバリに劣化している防湿シートを撤去し、アリダンシートで覆い隠します。



● 布基礎仕様



「アリダンシート」とは 35年の歴史をもつ信頼のある 防蟻シートです。

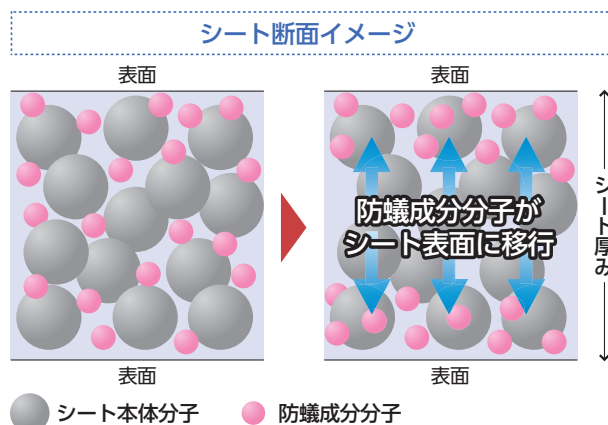


アリダンシートの防蟻メカニズム

シート本体分子と防蟻成分分子が、互いに「相溶性」というなじみやすい性質を有しながらも、水と油のように反発しあっているため、防蟻成分分子がシート表面側へ追いやられるような挙動が起こる。

その結果、防蟻成分分子はゆっくりとシート表面に移行していきます、シート表面で防蟻効果を発揮する。

シート表面の防蟻成分分子は次々にシート内部から表面へと移行していくので、長期にわたり防蟻効果が維持される。



湿気対策
が大事

「アリダンシート」により、 土壌からの湿気も防止することができます。

木造在来工法 築年数別 木材腐朽発生率

築年数	木造在来工法
0-4	1.0%
5-9	0.4%
10-14	2.3%
15-19	8.5%
20-24	12.0%
25-29	11.8%
30-34	13.6%
35-39	15.2%

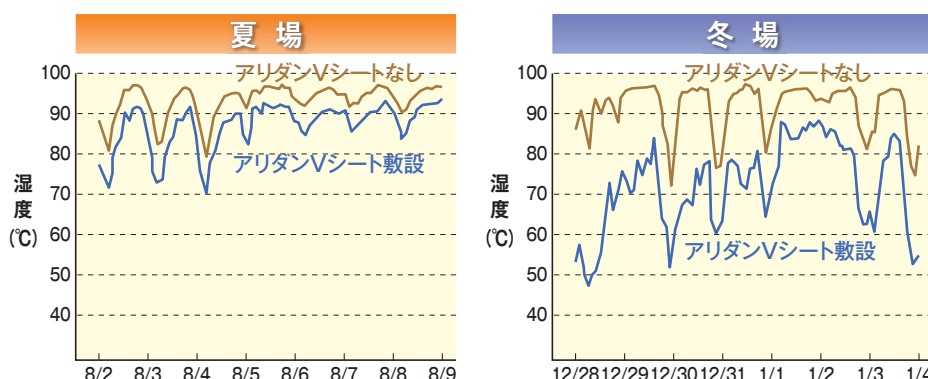
在来工法の場合、築15年以上経過すると被害発生率は急増している。

※ 出典：日本長期住宅メンテナンス有限責任事業組合

土壌面からの湿気の流入を防ぐ(防湿性)

試験小屋での 湿度変化の比較

住宅の床下を想定した試験小屋(各区画2m×2m)で、土壌面にアリダンVシートを敷設した場合と敷設していない場合の湿度(中央の地表面から25cmの位置)を測定。



木材が湿気によって腐朽すると、シロアリを誘引する物質が発生することが解明されています。つまり防蟻と防湿は深い関連性を持っていて、建物にはこの二つの処理が同時に行われていることが望ましいわけです。住宅を長持ちさせるためには、アリダンシートを用いて、防蟻と防湿を同時に行うのが効果的です。



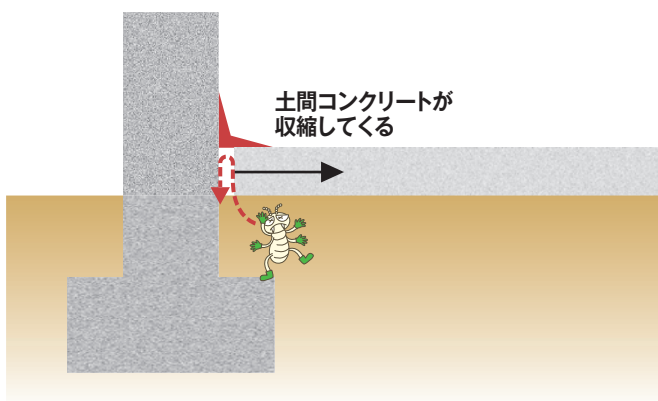


アリダンペースト工法

コンクリート収縮が生じる(隙間が生じやすい)部分にアリダンペーストを塗布します。
樹脂膜を形成し、この層がしっかりとシロアリから住宅をプロテクトします。

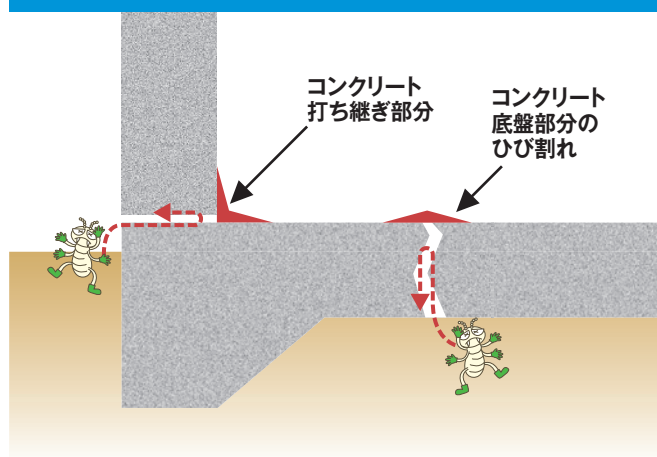


土間コンクリート仕様の場合



経年収縮した土間コンクリートの隙間から侵入してくるシロアリをブロック。

ベタ基礎仕様の場合



コンクリート打ち継ぎ部分やコンクリート底盤部分の経時的なひび割れ箇所から侵入してくるシロアリをブロック。

■ 薬剤成分揮散濃度の比較

一般的な住宅の床下で防蟻再施工を実際に行った際の薬剤揮散濃度(シラフルオフェン、イミダクロプリド)を測定

- 床下空間における薬剤揮散濃度(施工開始から2時間捕集)

従来の薬剤全面散布 イミダクロプリド 0.16μg/L

アリダン防蟻再施工 シラフルオフェン、イミダクロプリドともに **0.004μg/L未満** ※検査限界値 ➡ 薬剤揮散濃度が極めて小さく、安全性が高い

※薬剤散布には有効成分イミダクロプリドのみを含有した製品を使用

アリダン防蟻再施工は、従来の薬剤全面散布に比べて

製品
使用量

約1/3~1/10

薬剤有効
成分量

約1/2~1/5

■ 製品使用量の比較

床面積約77㎡で防蟻再施工を行った場合の床下での製品使用量の比較

従来の薬剤全面散布 約240kg (薬剤有効成分240g)

アリダン防蟻再施工 **約23kg** (薬剤有効成分132g) ※アリダンペーストTN35Lの場合

アリダンペースト TN35L



- 有効成分：シラフルオフェン イミダクロプリド
- 外観：オレンジ色ペースト状
- 用途：基礎塗布用 防蟻ペースト剤
- 危険物区分：非危険物
- 毒劇物区分：普通物

アリダンペースト剤の効力試験結果

試験方法

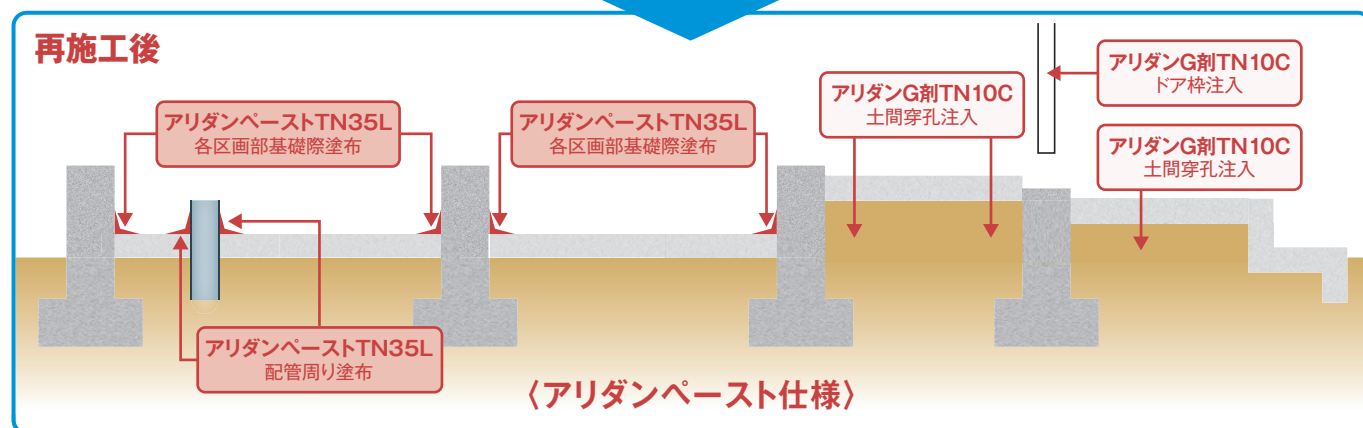
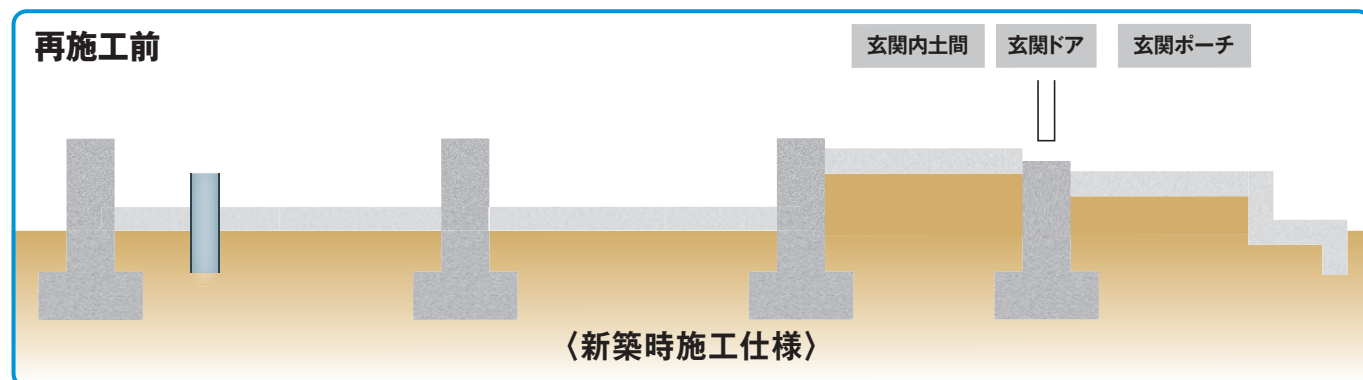
JWPAS-TS-S (貫通試験)

試験機関

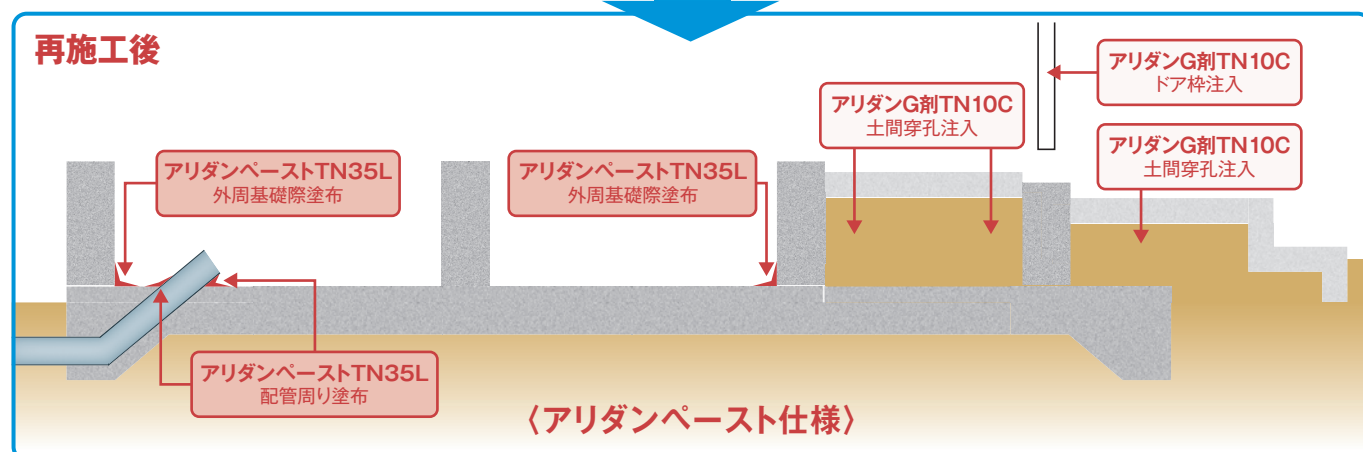
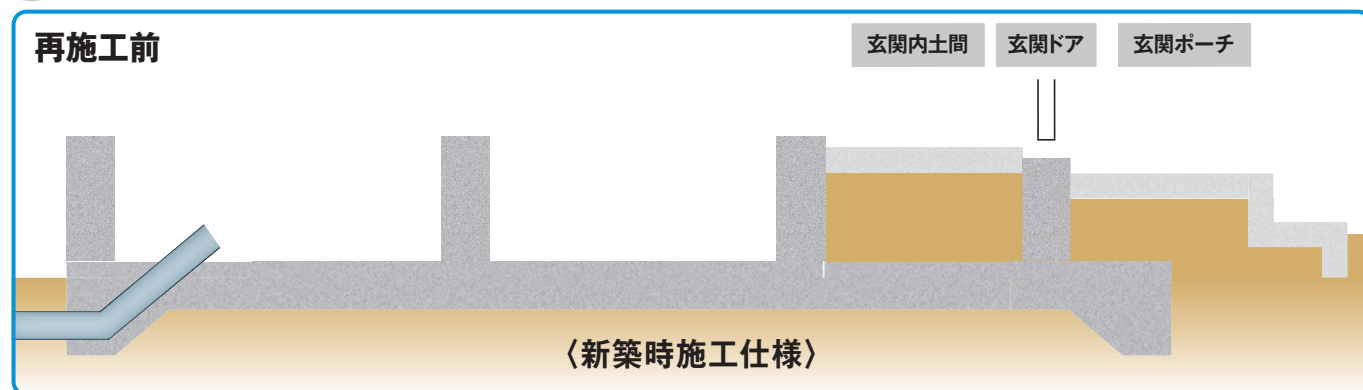
財団法人 建築研究協会

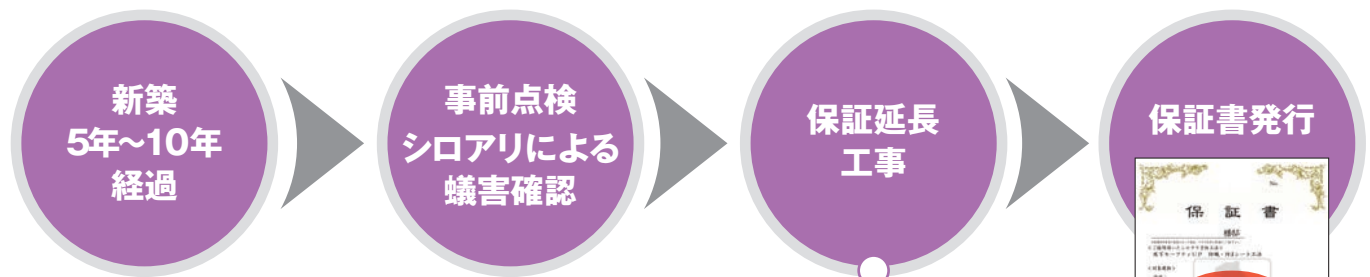
ペースト剤をシート状約2mm厚に成形し、試験を行ったところ、貫通されず、優れた防蟻効果を発揮しました。

●土間コンクリート仕様



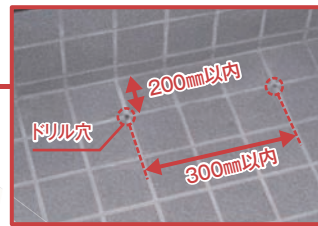
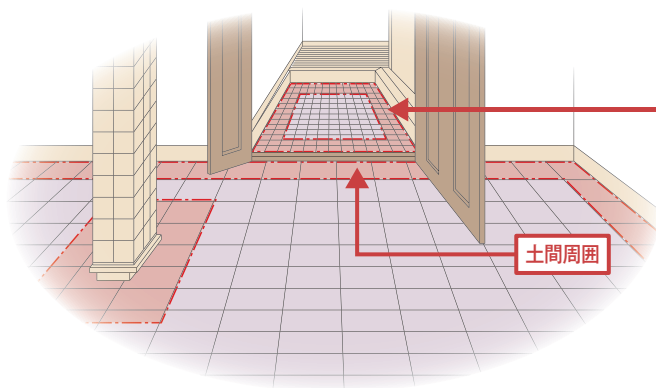
●ベタ基礎仕様





▶ 工事内容における注意点

前記に記した施工の他に、玄関土間・勝手口土間・ポーチ土間への薬剤の穿孔注入を行います。なお、この作業は下図の赤いエリアのタイル目地などに穴を開け、そこに薬剤を注入するものです。その後、この穴をモルタルなどでしっかり塞ぎますので、薬剤は飛散しません。



玄関土間やポーチ土間に穿孔（せんこう）する工事を行います。



穿孔後に薬剤を注入し、その後、穴をモルタルなどで埋め直して穿孔跡が残らないように処理します。

※タイル目地幅が5mmに達していない場合には、別途の処理を行わせていただきます。

■ 仕様部材

呼 称	形 状	形 態	成 分
● アリダンVシート20 ※グレー色		1m巾×20m巻×0.18mm厚 入数：4巻	EVA樹脂 防蟻薬剤 シラフルオフェン イミダクロプリド
● アリダンVシート65 ※グレー色		1m巾×65m巻×0.18mm厚 入数：1巻	
● アリダンTテープ80 ※半透明色		80mm巾×25m巻×0.4mm厚 入数：8巻	積層樹脂層+粘着剤+剥離紙 防蟻薬剤 シラフルオフェン イミダクロプリド
● アリダンTテープ270 ※半透明色		270mm巾×25m巻×0.4mm厚 入数：6巻	
● アリダンA剤TN20 ※オレンジ色		ロンテナー20kg入り(液状) ※希釈済	ワックス成分(樹脂分混入) 防蟻薬剤 イミダクロプリド
● A剤TN20用ノズル ※乳白色		入数：10個／箱	防蟻薬剤含有なし 材質 ノズル：ポリエチレン キャップ：ポリプロピレン
● アリダンペーストTN35L ※オレンジ色		ポリ缶3.5kg入り(液状) ※希釈済	アクリル樹脂(エマルジョン) 防蟻薬剤 シラフルオフェン イミダクロプリド
● アリダンG剤TN10C ※無色透明		ロンテナー10kg入り(液状) ※希釈済	水 乳化剤 防蟻薬剤 イミダクロプリド

●掲載の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。／●商品色は印刷により実際の色とは異なって見える場合があります。 価格に消費税は含まれていません。



フクビ化学工業株式会社

本社／〒918-8585 福井市三十八社町33-66

東京 ☎(03)5742-6301 大阪 ☎(06)6386-6950 名古屋 ☎(052)855-2332

札幌 ☎(011)896-7500 岩手 ☎(019)673-8254

宇都宮 ☎(028)636-3521 北関東 ☎(048)661-0400

神奈川 ☎(03)5742-6301 新潟 ☎(048)661-0400

静岡 ☎(052)855-2332 岡山 ☎(086)232-0601

福岡 ☎(092)471-5800 鹿児島 ☎(092)471-5800

仙台 ☎(022)287-3471

千葉 ☎(03)5742-6301

北陸 ☎(0776)38-8010

広島 ☎(082)246-7211

沖縄 ☎090-1995-2980

<https://www.fukuvi.co.jp>

PDF A229 2026.08 (R6)